

## Aceh-Japan Community Art Project 2017 報告展

## 未来へ「伝えるアートプロジェクト」

2018年 3月10日(土) ~ 3月21日(水祝)

11:00~19:00

※初日3/10(土)は14:00~、最終日3/21(水・祝)は~17:00

全労済ホール／スペース・ゼロ

地下1階ギャラリー・展示室

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-12-10 全労済会館 B1  
JR 新宿駅南口徒歩 5分

入場無料

地球対話ラボ報告会・  
東北アチェ連携トークセッション

3月21日(水祝)

14:00~17:00

<出演>地球対話ラボ、Restu Wardhana、Hanafy、  
村上タカシ、バルコキノシタ、  
村上愛佳、門脇篤 ほかインドネシア・アチェの震災遺構 Kapal KPLP  
photo: Makiko Nakagawa

プロジェクト特設サイト

&lt;主催&gt;全労済ホール／スペース・ゼロ、一般社団法人 MMIX Lab、NPO 法人地球対話ラボ、アチェ・コミュニティアート・コンソーシアム

&lt;助成&gt;宮城県文化芸術の力による心の復興事業、国際交流基金、トヨタ財団、YS 市庭コミュニティー財団

&lt;協力&gt;アチェ州政府観光局、ハンダアチェ市政府観光局、Kogetsu School Association、TPMT、SD Negeri 31 Banda Aceh、アチェ TV、東松島市立宮野森小学校、宮戸市民センター、ハマビルガオ Ambassador、ひまわり会、いわき市立四倉小学校、桜 3.11 プロジェクト実行委員会、国立大学法人宮城教育大学村上タカシ研究室、NPO 法人コミュニティアート・ふなばし、公益社団法人こどもみらい研究所、一般社団法人アート・インクルージョン、一般社団法人まちとアート研究所



- |   |   |   |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |
| ④ | ⑤ | ⑥ |

## 負の体験を豊かな未来へとつないでいくために



### 日本とインドネシア・アチェの被災地間協働によるコミュニティアート事業

- ① バンダアチェ市第 31 小学校での「桜 3.11 学校プロジェクト」
- ② Restu Wardhana 「被災地から未来へ」
- ③ 村上愛佳 「2つの奇跡の松」
- ④ ラビラビ・アート・ツアー
- ⑤ パルコキノシタ 「犠牲になった人を思いながら人形を彫る」
- ⑥ 門脇篤 「アチェと東北、200 キロサイクリング」

photo: Makiko Nakagawa (①~⑤),  
Yuichi Watanabe(⑥)

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災を経験した日本と 2004 年 12 月 26 日のスマトラ島沖地震を経験したインドネシア・アチェ。本展では全労済ホール / スペース・ゼロと MMIX Lab のプロデュースにより、地球対話ラボが両地域を結んで 2017 年 12 月にアチェのバンダ・アチェ市を中心に開催した「アチェ=ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト 2017」の様相とそこから生まれた新たな展開とをご紹介します。

プロジェクトでは日本とアチェのアーティストおよび自身を表現者と自覚していない人まで含めた約 30 の企画がバンダ・アチェ市内の震災遺構や伝承施設を会場に行われ、アチェの若者を中心に 50 人をこえるボランティアが、スマトラ沖地震 13 周年となる 12 月 26 日を含め、10 日間にわたりプロジェクトを運営していきました。

震災という「負の体験」をきっかけにしながら、両地域がともに協働して企画に取り組むことで、震災の記憶を風化させることなく未来へと伝えていくための被災地ツーリズムの可能性や、双方の社会的背景や歴史にまで踏み込んだ関係性を生み出し始めています。

## 地球対話ラボ報告会・東北アチェ連携トークセッション

3月21日(水)祝 14:00~17:00 スペース・ゼロ展示室

アチェから 2 名を迎え、プロジェクト報告会とトークセッションを開催します。

### <出演>

地球対話ラボ (アチェ=ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト主催者)  
Restu Wardhana (美術家、スマトラ沖地震のモニュメント制作者)  
Hanafy (アチェ・コミュニティアート・コンソーシアム共同代表)  
村上タカシ (美術家、MMIX Lab 代表)  
パルコキノシタ (美術家)  
村上愛佳 (美術家、東京藝術大学大学院グローバルアートプラクティス専攻)  
門脇篤 (現代アーティスト) ほか

### <関連企画>

#### 東北とアチェ、200 キロサイクリング

3月7日(水)~9日(金) (仙台~宮城沿岸~福島沿岸~東海村)

スマトラ島・アチェの沿岸 240 キロを走り抜けたのと同じ自転車道で仙台在住の現代アーティスト門脇篤が東北の沿岸 270 キロを走破。自転車を会場に展示します。走行中のようすは Facebook 等で!

#### 報告巡回展@東北

3月23日(金)~4月27日(金) 10:00~16:00 土日祝休み 入場無料  
アート・インクルージョン・ギャラリー  
(仙台市青葉区一番町 3-8-14 スズキアバンティビル 3F)

仙台市中心部に新たに誕生したコミュニティ・ギャラリーを会場に、新たな企画を加えながら本展が巡回していきます。

### 【企画団体紹介】

一般社団法人 MMIX Lab <http://mmix.org/>



既存の芸術の枠組みにとらわれず、アートと地域文化を結び創造的芸術活動を展開している。2011 年東日本大震災以降は、津波でねじ曲がった公共物等を残し震災を後世に伝える「3.11 メモリアルプロジェクト」や、桜を植樹しアートワークショップを実施することで津波の到達ラインを示し、負の記憶を転換していく「桜 3.11 プロジェクト」、2016 年熊本地震後は GAMADASE ART PROJECT (がんばれ熊本! プロジェクト) などを展開している。代表: 村上タカシ。

特定非営利活動法人地球対話ラボ <http://www.taiwa.or.jp>



2002 年、日本とアフガニスタンの高校生が衛星電話とテレビ電話を活用して対話するプロジェクトから始まり、それ以降、イラク、ラオス、ブータンなどで活動を展開。遠く離れた国や地域などの、日常生活では出会うことが難しい人びとをリアルタイム・双方向・対面・汎地球なメディアでつなぐ「地球対話」を行っている。普段はメディアからの一方的な情報の受け手であったり、取材対象や被写体であった人々が情報の発信主体となり、お互いの声や表情が作用しあう場を共有することで、「新しい世界のありかた」をつくることを目指している。